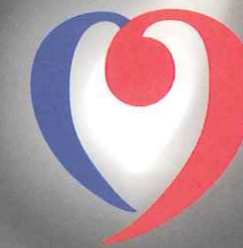


JAPANESE HEART FAILURE • SOCIETY



JAPANESE HEART FAILURE SOCIETY

日本心不全学会

News Letter

Vol. 7, No. 3, 2003

発行：2003年10月1日
日本心不全学会
Japanese Heart Failure Society
<http://www.jhfs.gr.jp/>

CONTENTS

1
3
7
14
15

第7回日本心不全学会総会・学術集会のお知らせ

●堀 正二(大阪大学大学院医学系研究科病態情報内科学)

〈心不全治療のトピックス〉CHARM 試験に学ぶ

●金 勝慶(大阪市立大学大学院医学研究科分子病態薬理学)

平成15年度日本心不全学会・総会議案書

日本心不全学会ホームページ開設案内/学会カレンダー

日本心不全学会 News Letter 編集事務局・日本心不全学会事務局よりお知らせ

第7回日本心不全学会学術集会

*ご参加により、日本循環器学会認定更新研修単位(3単位)を取得していただけます(自己申告式)。

会期 2003年10月23日(木)~25日(土)
 会場 グランキューブ大阪[大阪国際会議場]10F
 会長 堀 正二 (大阪大学大学院医学系研究科病態情報内科学)
 参加費 10,000円(当日受付のみ)
 事務局 大阪大学大学院医学系研究科病態情報内科学内(担当:大津欣也)
 〒565-0871 吹田市山田丘2-2 TEL 06-6879-3640/FAX 06-6879-3639
 E-mail 7jhfs2003@medonc.med.osaka-u.ac.jp/URL http://square.umin.ac.jp/JHFS2003/

日本心不全学会組織

- 理事長 北島 顕
- 理事 磯部光章 今泉 勉 小川 聡 笠貫 宏 篠山重威 白土邦男 竹越 襄
 竹下 彰 外山淳治 土居義典 永井良三 藤原久義 堀 正二 松崎益徳
 松田 暉 矢崎義雄 山口 巖 横山光宏 吉川純一
- 監事 大江 透 友池仁暢
- 評議員
 相澤義房 麻野井英次 東 純一 安倍十三夫 飯島俊彦 飯沼宏之 井内和幸
 池口 滋 石川欽司 石川利之 石川欽司 石川利之 磯部光章
 磯山正玄 伊藤一輔 伊藤隆之 井上 博 井上通敏 今泉 勉 岩坂壽二
 岩崎忠昭 上嶋健治 上田清悟 上嶋 拓 上床博久 遠藤政夫 大内尉義
 大江 透 大川真一郎 大木 崇 大草知子 大塚邦明 岡本 洋 小笠原定雅
 小川 聡 小川久雄 小川久雄 奥村 謙 小沢友紀雄 落合久夫 小野幸彦
 尾内善四郎 加賀谷豊 垣花昌明 笠貫 宏 梶谷定志 片桐 敬 加藤法喜
 金子 昇 加納達二 上松瀬勝男 茅野真男 川久保清 川口秀明 川嶋成乃亮
 川名正敏 河村慧四郎 神原啓文 菊池健次郎 岸田 浩 北浦 泰 北島 顕
 木之下正彦 木原康樹 木全心一 許 俊鋭 上月正博 小室一成 朔啓二郎 篠山重威
 栗田 憲 元田 憲 小岩喜郎 小林洋一 酒井 俊 島田和幸 菅原基晃
 琴浦 肇 斎藤能彦 小西 孝 斎藤能彦 澤 芳樹 住吉徹哉 砂川賢二
 齋藤宗靖 佐藤友英 杉下靖郎 高橋正明 竹村元三 筒井裕之 中川雅夫
 永田正毅 野々木宏 濱田希臣 廣瀬邦彦 細田泰之 松井 忍 松田 暉
 三浦哲嗣 湊口信也 本原征一郎 安田慶秀 山科 章 吉田 清

- 賛助会員一覧 (平成15年9月30日現在, 50音順)
- | | | | |
|---|--|--|--|
| あ
アストラセネガ株式会社
エーザイ株式会社
大塚製薬株式会社 | 第一サントリーファーマ株式会社
第一製薬株式会社
財団法人 体質研究会
大正富山医薬品株式会社 | か
日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社
日本メジフェイジックス株式会社 | ファルマシア・アップジョン株式会社
フクダ電子株式会社
藤沢薬品株式会社 |
| さ
塩野義製薬株式会社 | 大日本製薬株式会社
帝人株式会社 | は
バイエル薬品株式会社
萬有製薬株式会社
ファイザー製薬株式会社 | ま
丸石製薬株式会社
三菱ウェルファーマ株式会社 |
| た
田辺製薬株式会社 | な
日本化薬株式会社 | | |

●特別プログラム (プレナリーセッション、開会・特別・教育講演、パネル1、Y I A 審査講演は英語)

開会講演 1 題 特別講演 2 題 プレナリーセッション 3 題 シンポジウム 1 題 パネルディスカッション 4 題 教育講演 4 題 TOPICS 1 題 Y I A 審査講演 モーニングレクチャー 4 題 ランチョンセミナー 6 題 サテライトセミナー 4 題	10月24日(金)		10月25日(土)	
	モーニングレクチャー 1 ... 8:00-8:45	モーニングレクチャー 2 ... 8:00-8:45	モーニングレクチャー 3 ... 8:00-8:45	モーニングレクチャー 4 ... 8:00-8:45
	プレナリーセッション 1 9:00-11:10 一般演題(口頭)..... 9:00-11:00 特別講演 1 11:10-12:00		プレナリーセッション 2 9:00-11:00 教育講演 2 9:00-9:30 教育講演 3 10:00-10:30 特別講演 2 11:00-11:50	
	ランチョンセミナー 1 12:30-13:30	ランチョンセミナー 2 12:30-13:30	ランチョンセミナー 3 12:00-13:00	ランチョンセミナー 4 12:00-13:00
	一般演題(ポスター) .. 13:30-14:30 シンポジウム 14:30-16:30 パネルディスカッション 3 14:30-16:30 教育講演 1 16:30-17:00 TOPICS 16:30-18:00 Y I A 審査講演 17:00-18:00		一般演題(ポスター) .. 13:00-14:00 プレナリーセッション 3 .. 14:00-16:00 パネルディスカッション 4 14:00-15:30 教育講演 4 15:30-16:00 閉会(Y I A 授与式) .. 16:00-16:15	
サテライトセミナー 1 18:30-20:30	サテライトセミナー 2 ... 18:15-20:15	サテライトセミナー 3 ... 18:15-20:15	サテライトセミナー 4 16:30-18:30	

●外国人講演者

- Chien, KR Univ. of California at San Diego, USA
- Bourge, RC Univ. of Alabama at Birmingham, USA
- Dahlöf, B Sahlgrenska Univ. Hosp./Östra, Sweden
- Dib, N Arizona Heart Inst. and Hosp., USA
- Diez, J Univ. of Navarra, Spain
- Howlett, J Dalhousie Univ., Canada
- Konstam, MA Tufts-New England Medical Ctr./Tufts Univ., USA
- Little, WC Wake Forest Univ., USA
- Mann, DL Baylor Coll. of Medicine, USA
- Ponikowski, P Clinical Military Hosp., Poland
- Sabbah, HN Henry Ford Heart and Vascular Inst., USA
- Swedberg, K Göteborg Univ., Sweden
- Remme, WJ Sticares Cardiovascular Research Foundation, The Netherlands

■ 開会講演 (英語)

European Guidelines for the Treatment of Heart Failure Remme, WJ The Netherlands

■ 特別講演 (英語)

1. Genetic and Cellular Pathways in Heart Failure Chien, KR USA

2. Systolic and Diastolic Dysfunction in Heart Failure? Time for a New Paradigm Konstam, MA USA

■ プレナリーセッション (英語)

1. Diastolic Heart Failure: Diagnosis, Epidemiology and Treatment

- Keynote Diastolic Heart Failure Little, WC

- Keynote Monitoring Collagen Turnover and Myocardial Fibrosis in Diastolic Heart Failure Díez, J

- Hypertensive Diastolic Heart Failure Masuyama, T

- Heart Failure and Ca²⁺ Homeostasis Yano, M

- Hospitalization and Long-term Follow-up for Heart Failure in the Presence of a Normal Left Ventricular Ejection Fraction

Klapholz, M (Saint Vincent Catholic Medical Ctr., USA)

- Heart Failure with Preserved Ejection Fraction Deswal, A (Baylor Coll. of Medicine, USA)

2. Experimental Animal Models of Heart Failure: From Gene to Function

- Keynote Prevention of Progressive Left Ventricular Dilatation in Heart Failure Sabbah, HK

- Keynote Determinants of Left Ventricular Remodeling Mann, DL

- Selective Translocation and Cleavage of Dystrophin in Cardiomyocytes as a Final Common Pathway to Progress Heart Failure (HF) in Both the Hereditary and Acquired Origins

Toyo-oka, T

- Molecular Dissection of the Critical Signaling Events in Heart Failure Using Genetically Engineered Mice Otsu, K

- Roles of Inflammation in Heart Failure Matsumori, A

3. Cellular and Tissue Engineering Strategies for the Treatment of Heart Failure

- Keynote Safety and Feasibility of Autologous Myoblast Cell Transplantation in Patients with Ischemic Cardiomyopathy Dib, N

- Angiogenic Cell Therapy for No-option Patients with Ischemic Myocardium by Catheter-based Transplantation of Bone Marrow Mononuclear Cells

Matsubara, H

- Regeneration Therapy for Myocardial Infarction Komuro, I

- Myocardial Regeneration Therapy for the Impaired Myocardium Komuro, I

- G-CSF and GM-CSF Differentially Affect the Regeneration of Infarcted Myocardium by Bone Marrow-derived Cells

Fukuda, K

- Acceleration of the Healing Process as Well as Myocardial Regeneration may be Important as a Mechanism of Improvement of Cardiac Function and Remodeling by Post-infarct G-CSF Treatment

Minatoguchi, S

■ シンポジウム

Signaling Pathways and Molecular Mechanisms of Heart Failure

■ パネルディスカッション

1. Biventricular Pacing for Heart Failure (英語)

2. Current Issues in Heart Transplantation

3. Epidemiology and Clinical Trials in Heart Failure

4. Recent Advances in Surgical Treatment of Heart Failure

■ TOPICS

New Drugs, New Trials

■ 教育講演 (英語)

1. Recent Trials of RA Modulating Drugs in CHF Howlett, J

2. Anaemia Ponikowski, P

3. Modern Pharmacological Treatment of Chronic Heart Failure Swedberg, K

4. The Relevance of Blocking Angiotensin for Target Organ Protection and Implications for Prognosis Dahlöf, B

心不全治療のトピックス

CHARM試験に学ぶ

金 勝 慶

大阪市立大学大学院医学研究科分子病態薬理学

I. はじめに

AT1受容体ブロック (ARB) はACE阻害薬と異なる薬理作用をもつレニン-アンジオテンシン系 (RA系) 阻害薬であり、大規模試験での新たなエビデンスが次々と報告され、広汎な循環器病治療薬として期待されている。本年8月30日からウィーンで開催されたESC (欧州心臓病学会) で、心不全での史上最大規模の大規模臨床試験であるCHARM (Candesartan in Heart failure Assessment of Reduction in Mortality and morbidity) 試験の結果が報告された。CHARM試験発表日 (8月31日) は朝から小雨がぱらついていて、発表会場 (収容人員約2,000名) は定員をはるかに上回る世界各国の専門医が集まり、多くの参加者が入場できないという大盛況ぶりであった。CHARM試験は心不全でのカンデサルタンの有効性を検討した試験であるが、この試験により心不全治療におけるARBの有効性が確固たるものとなった。また、学会発表と同時に、CHARM試験の成績はLANCETに4報に分けて論文発表されており¹⁻⁴⁾、CHARM試験がいかに内容の濃い試験であったかが理解できる。本稿では、その詳細な内容について紹介する。

II. CHARM試験のデザイン

図1に示すように、CHARM試験は3つの大規模試験 (Alternative, Added, Preserved) で構成されており、それぞれの試験に統計解析に必要な症例数が確保されている。それぞれの試験はすべて無作為二重盲検比較プラセボコントロール試験で実施されている。カンデサルタンの投与量は1日1回4mgもしくは8mgから投与を開始して2週間毎に投与量を上げながら、最大投与量は32mgを目標に設定している。この試験における一次エンドポイントは心血管死と慢性心不全の悪化による入院の複合エンドポイントである。また、二次エンドポイントとして心血管死、慢性心不全の悪化による入院、これらに心筋梗塞、脳卒中、冠動脈血

行再建術などを加えたエンドポイントや新規の糖尿病発症などが挙げられている。それぞれの試験での詳細な患者背景を表に示しているが、β遮断薬の併用率 (すべての試験において50%以上)。スピロラクソンの併用率 (平均17%) がVal-HeFT試験⁵⁾より高いことが1つの特徴である。さらに、CHARM試験では上述の3つの大規模試験すべての成績を集めて全体解析した成績 (CHARM-Overall) も報告されている。以下に3つの試験およびCHARM-Overallの結果を紹介する。

III. CHARM-Alternative

この試験¹⁾では左室駆出率 (LVEF) が40%以下の症候性心不全患者で、何らかの理由によってアンジオテンシン変換酵素阻害薬 (ACE阻害薬) が継続して投与できない2,028名の患者がエントリーされた。ACE阻害薬不耐容の理由としては、空咳 (72%) が最も多く、低血圧 (13%)、腎機能障害 (12%) が続いている。すなわち、この試験は心不全治療においてカンデサルタンがACE阻害薬の代替薬となりうるかを検討した試験と言える。

一次エンドポイントである心血管死および心不全の悪化による入院が報告されたのは、カンデサルタン群、プラセボ群でそれぞれ334名 (33%)、406名 (40%) であり、カンデサルタン群でプラセボ群に比較して23%の有意なリスク低下が見られた (図2)。すなわち、SOLVD治療試験でのACE阻害薬 (エナラプリル) の効果 (リスク低下率は26%) と同様な効果がカンデサルタンで証明され、ARBが単独で心不全治療薬として有効であることが大規模試験で初めて証明された¹⁾。

IV. CHARM-Added

この試験²⁾ではLVEFが40%以下の症候性心不全患者で、ACE阻害薬が既に投与されている2,548名の患者がエントリーされた。すなわち、すでにACE阻害薬を含む標準治療を行っている慢性心不全患者に対し

表 試験開始時の患者背景

	Alternative n=2028	Added n=2548	Preserved n=3023	Overall n=7599
平均年齢(歳)	67	64	67	66
女性(%)	32	21	40	32
NYHAクラス(%)				
II	48	24	60	45
III	49	73	38	52
IV	3	3	2	3
左室駆出率(LVEF)	30	28	54	39
既往歴(%)				
心筋梗塞	61	56	44	53
糖尿病	27	30	28	28
高血圧	50	48	64	55
心房細動	25	26	29	27
試験開始時治療薬(%)				
ACE阻害薬	0	100	19	41
β遮断薬	55	56	56	55
利尿薬	86	90	75	83
スピロラクトン	24	17	12	17
ジギタリス	46	58	28	43
アスピリン	58	52	58	56
脂質低下剤	41	41	42	42

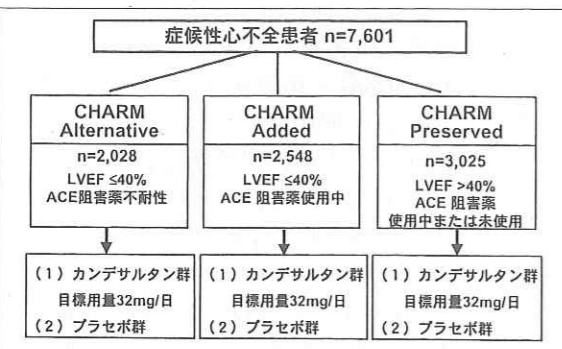


図1 CHARM試験のデザイン

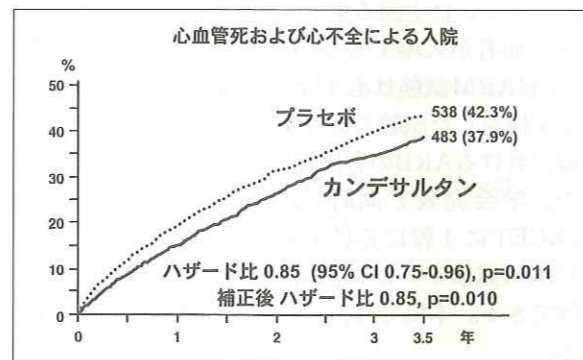


図3 CHARM-Addedにおける主要評価項目

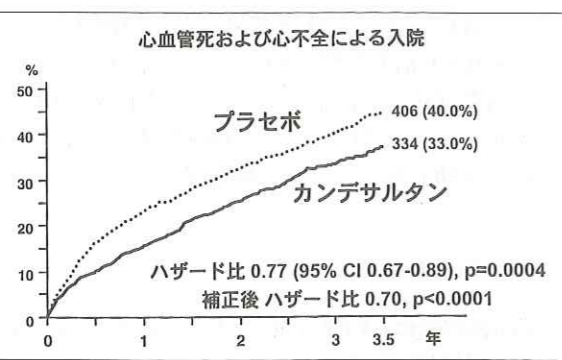


図2 CHARM-Alternativeにおける主要評価項目

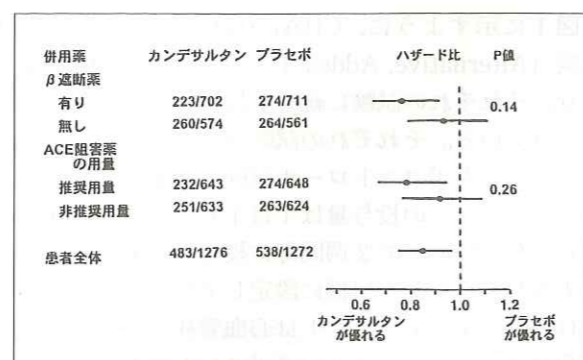


図4 CHARM-Addedにおける併用薬別のサブ解析結果

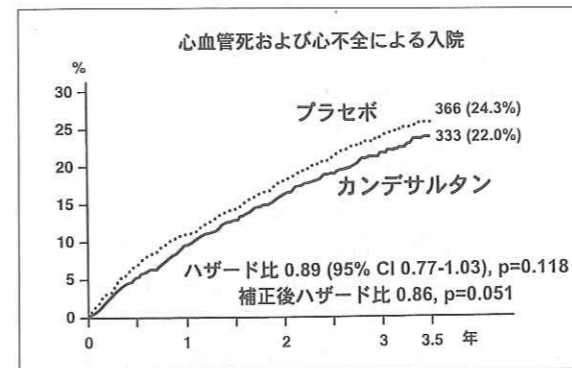


図5 CHARM-Preservedにおける主要評価項目

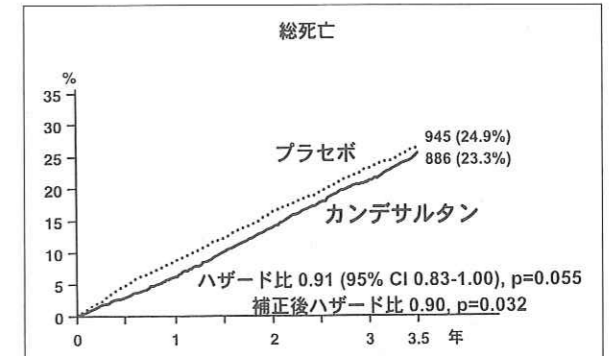


図7 CHARM-Overallにおける主要評価項目

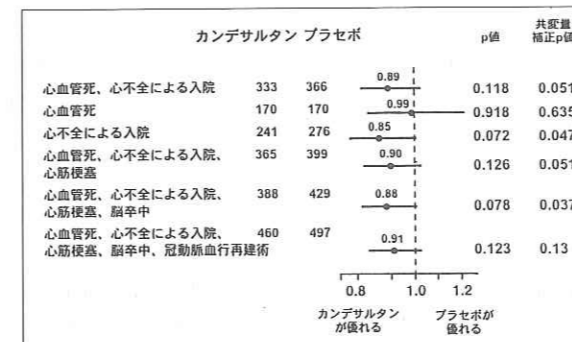


図6 CHARM-Preservedにおける主要および副次評価項目

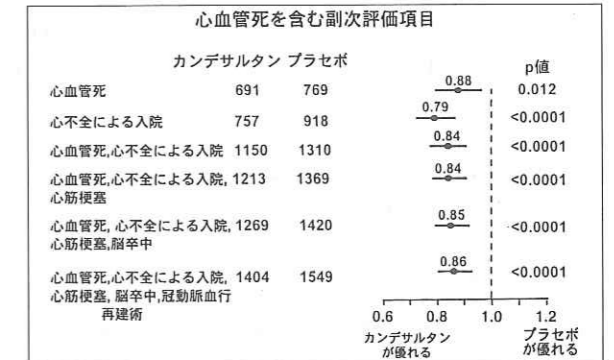


図8 CHARM-Overallにおける副次評価項目

て、ARBの追加投与が有効であることを検討する試験であり、Val-HeFTと類似した試験デザインである。

一次エンドポイントが報告されたのは、カンデサルタン群、プラセボ群でそれぞれ483名(38%)、538名(42%)であり、プラセボと比較して、カンデサルタン群で15%の有意なリスク低下が見られ(図3)。Val-HeFT試験での結果が再現されたと言える。しかし、この試験では、併用薬別のサブ解析で注目すべき結果が報告された。すなわち、ACE阻害薬、β遮断薬とARBの3剤併用はVal-HeFTにおいては有効でないという成績であったが、この試験では3剤併用が有効であるという結果が出た(図4)。2つの試験における3剤併用効果の違いの理由は不明であるが、CHARM-Addedの方がVal-HeFTよりも重症な心不全患者の割合が多かったこと(NYHA class III度がそれぞれ、73%と36%)も関与している可能性がある。すなわち、3剤併用の有用性については、今後、心不全の重症度についても考慮する必要があるかもしれない。また、CHARM-Addedでは、ACE阻害薬が推奨用量投与されていた群で非推奨用量しか投与されていない群と比較して、ARBの追加投与が少なくとも同等の有用性が報告されており(図4)、心不全患者でARBがACE阻害薬と異なる有用性を発揮することが証明された。

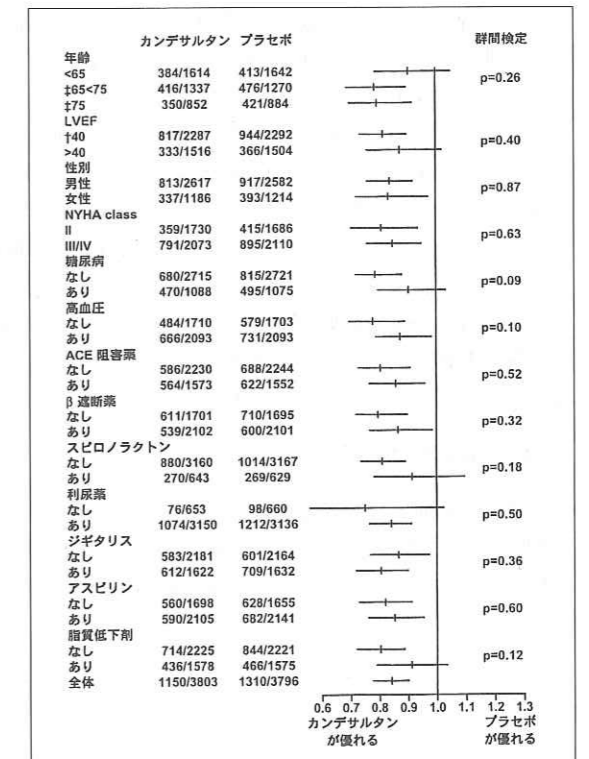


図9 CHARM-Overallにおける背景別の効果

V. CHARM-Preserved

この試験³⁾では、LVEFが40%より大きい症候性心不全患者3,023名がエントリーされている。これまでにLVEFが40%を超える心不全対象の大規模臨床試験は報告がない。この試験においては拡張機能の検査を実施していないので拡張不全の診断はついていないが、エントリーされている心不全患者の約65%がLVEFが50%以上を保持しており、かなりの割合で拡張不全患者もエントリーされているものと推察できる。

一次エンドポイントの報告は、カンデサルタン群333名(22%)、プラセボ群366名(24%)であり、カンデサルタン群で有効である傾向が見られたが、有意差はなかった(図5)。しかし、二次エンドポイント(図6)において、カンデサルタンが心不全の悪化による入院を有意に減少させたことがわかった。また、CHARM-Preservedでは新規の糖尿病発症をカンデサルタンが40%抑制していることもわかった。

VI. CHARM-Overall

以上の3つの大規模試験をすべて集めて解析したCHARM-Overall⁴⁾について述べる。この解析での一次エンドポイントは、総死亡であった。また、各試験の一次エンドポイントや二次エンドポイントも評価項目に挙げられている。

一次エンドポイントの総死亡はカンデサルタン群、プラセボ群でそれぞれ886名(23%)、945名(25%)であった。背景因子補正後の統計解析では、カンデサルタン群ではプラセボ群と比較して有意に総死亡が減少していた(図7)。また、心血管死、心不全による入院など二次エンドポイントとして解析されたすべての項目でカンデサルタンの有用性が証明された(図8)。さらに、背景因子別の解析結果(図9)が示すように、年齢、性別、LVEF、NYHAクラス、併用薬の種類に関係なく、カンデサルタンの症候性心不全患者に対する有効性が認められた。

VII. CHARM試験から学んだこと

CHARM試験で証明されたこと、および今後の課題を以下にまとめた。(1)CHARM試験はACE阻害薬との比較試験は含まれていなかったが、以上の成績か

らARBがACE阻害薬と同様な心不全予後改善効果をもつことが初めて証明されたと言える。(2)Val-HeFTと同様に、ACE阻害薬にARBを追加投与することは心不全治療に有用であることが証明された。(3)ACE阻害薬、β遮断薬、ARBの3剤併用が心不全治療に有効であることが初めて証明された。しかし、Val-HeFTの結果と合わせると、心不全の重症度、薬剤の投与量および投与順序などを考慮した検討が今後必要と考える。(4)拡張不全にもARBが有効である可能性が示唆された。拡張不全は高齢者、高血圧との合併が多いことを考えると、高齢化社会においてますます重要となる疾患であり、今後、拡張不全におけるARBの有用性について明らかにすることは極めて重要な課題と言える。

以上から、CHARM試験は心不全治療におけるARBの有用性の確固たるエビデンスを提供しただけでなく、心不全に対する新たな治療戦略を示唆した試験と言える。

文 献

- 1) Granger CB, McMurray JJ, Yusuf S, Held P, Michelson EL, Olofsson B, Ostergren J, Pfeffer MA, Swedberg K. Effects of candesartan in patients with chronic heart failure and reduced left-ventricular systolic function intolerant to angiotensin-converting-enzyme inhibitors: the CHARM-Alternative trial. *Lancet* 362: 772-776, 2003.
- 2) McMurray JJ, Ostergren J, Swedberg K, Granger CB, Held P, Michelson EL, Olofsson B, Yusuf S, Pfeffer MA. Effects of candesartan in patients with chronic heart failure and reduced left-ventricular systolic function taking angiotensin-converting-enzyme inhibitors: the CHARM-Added trial. *Lancet* 362: 767-771, 2003.
- 3) Yusuf S, Pfeffer MA, Swedberg K, Granger CB, Held P, McMurray JJ, Michelson EL, Olofsson B, Ostergren J. Effects of candesartan in patients with chronic heart failure and preserved left-ventricular ejection fraction: the CHARM-Preserved Trial. *Lancet* 362: 777-781, 2003.
- 4) Pfeffer MA, Swedberg K, Granger CB, Held P, McMurray JJ, Michelson EL, Olofsson B, Ostergren J, Yusuf S, Pocock S. Effects of candesartan on mortality and morbidity in patients with chronic heart failure: the CHARM-Overall programme. *Lancet* 362: 759-766, 2003.
- 5) Cohn JN, Tognoni G. A randomized trial of the angiotensin-receptor blocker valsartan in chronic heart failure. *N Engl J Med* 345: 1667-1675, 2001.

平成15年度日本心不全学会・総会

議 案 書

日 時：平成15年10月24日(金) 午後12時～12時30分

会 場：大阪国際会議場 1003

議 長：堀 正二 会長

次 第：

報告事項

1. 各委員会報告
2. 第7回学術集会
3. 第8回学術集会
4. その他

審議事項

1. 平成14年度決算書並びに監査報告について
2. 平成16年度予算書案について
3. 第9回会長の選出
4. 会則改定について
5. 新理事・新評議員について
6. 名誉会員候補者等
7. その他

報告事項1. 会員数の推移について

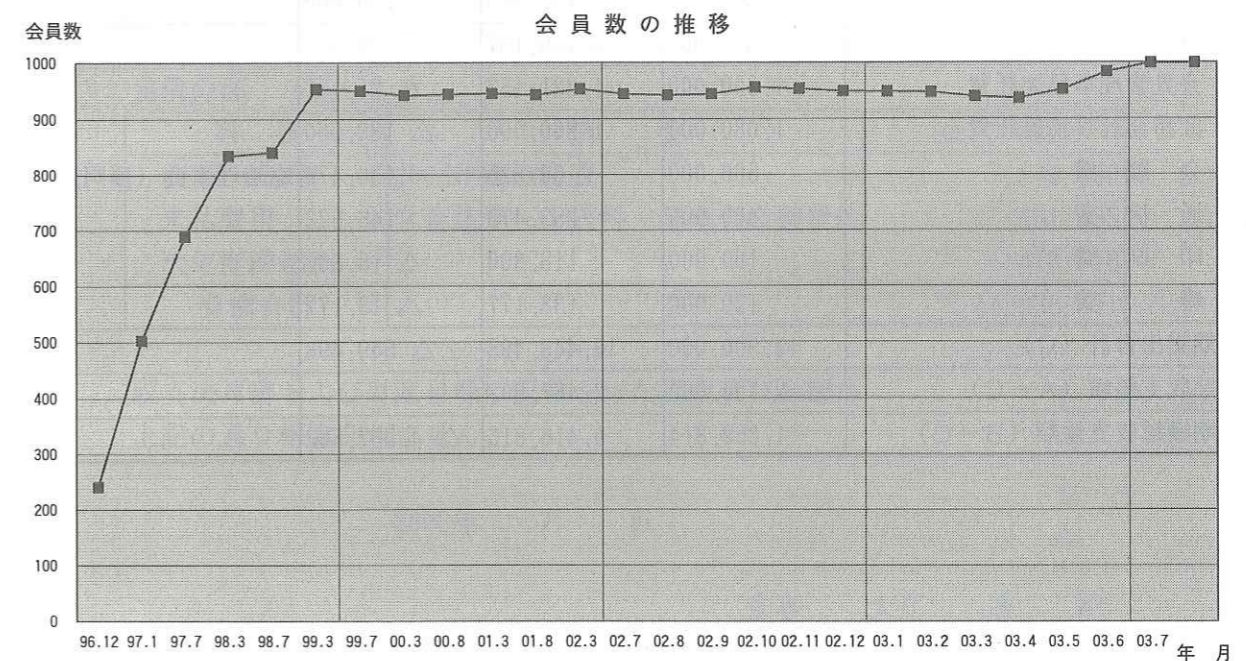
年 月	正会員入会	正会員退会	賛助会員入退会	合 計
96.12	241			241
97.1	262			503
97.2	43		4	550
97.3	18	1	2	569
97.4	72	1	6	646
97.5	17		2	665
97.6	11		2	678
97.7	9		2	689
97.8	4		7	700
97.9	32		4	736
97.1	99		2	837
97.11	1			838
97.12	3		-1	840
98.1	2			842
98.2	0			842
98.3	1	8		835
98.4	1	1		835
98.5	9	5		839
98.6	4	2		841
98.7	1	1		841
98.8	1	1		841
98.9	38			879
98.1	78			957
98.11	1	2		956
98.12	1	1		956
99.1	1	1		956
99.2	4	1		959
99.3	1	7		953
99.4	9	6	-1	955
99.5	3	1		957
99.6	2	3	-1	955
99.7	1	6		950
99.8	1	3		948
99.9	4	5		947
99.10	20	1		966
99.11	1	5		962
99.12	1	4		959
00.1	0	2		957
00.2	0	0		957
00.3	1	15	-1	942
00.4	5	4	-1	942
00.5	2	1		943
00.6	1	4		940
00.7	3	1		942
00.8	1	0		943
00.9	0	0		943
00.10	10	1		952
00.11	15	4		963
00.12	2	2		963
01.1	1	2		962
01.2	4	2		964
01.3	5	24		945
01.4	4	3		946
01.5	11	1		956
01.6	6	2		960
01.7	6	2	-2	962
01.8	2	0		964
01.9	2	0		966
01.10	11	4		973
01.11	0	1		972
01.12	0	0		972
02.1	1	0		973

年 月	正会員入会	正会員退会	賛助会員入退会	合 計
02.2	1	3		971
02.3	3	20	-1	953
02.4	3	6		950
02.5	3	1		952
02.6	1	7		946
02.7	0	2		944
02.8	2	4		942
02.9	4	2		944
02.10	12	0		956
02.11	0	3		953
02.12	0	4		949
03.1	0	1		948
03.2	0	1		947
03.3	2	10		939
03.4	3	6		936
03.5	20	4		952
03.6	37	6		983
03.7	18	2		999
合計	997	198	23	1784

逝 去 者
小林 正

地域別会員数(2003年7月末)

	北海道	東北	関東	中部	甲信越	関西	中国	四国	九州	合計
正 会 員	68	49	260	96	69	249	58	40	87	976
賛助会員			14			9				23



審議事項1

日本心不全学会平成14年度決算書

(2002年4月1日～2003年3月31日)

<収入の部>

科目	平成14年度 予算書	平成14年度 決算額	差異 (△超過)	備考
会費収入	10,400,000	12,710,000	△ 2,310,000	
正会員会費	8,000,000	7,810,000	190,000	会費納入率 84.0%
賛助会員会費	2,400,000	4,900,000	△ 2,500,000	24社
広告掲載料収入	2,400,000	3,200,000	△ 800,000	ニュースレター
雑収入	0	2,027,000	△ 2,027,000	
寄付金	0	2,000,000	△ 2,000,000	第6回学術集会からの寄付
受取利息他	0	27,000	△ 27,000	
当期収入合計(A)	12,800,000	17,937,000	△ 5,137,000	
前期繰越収支差額	3,959,314	3,929,314		
収入合計(B)	16,759,314	21,866,314	△ 5,107,000	

<支出の部>

科目	平成14年度 予算書	平成14年度 決算額	差異 (△超過)	備考
刊行事業費	10,600,000	11,659,961	△ 1,059,961	
JCF購読料(vol.8No.1-6)	7,000,000	7,765,546	△ 765,546	
JCF送料	1,000,000	1,087,305	△ 87,305	
会報編集制作費(ニュースレター)	2,200,000	2,433,900	△ 233,900	年4回発行
会報送料	400,000	373,210	26,790	
学術集会費	800,000	639,400	160,600	
予稿集発行負担金	500,000	500,000	0	
予稿集送料	300,000	139,400	160,600	
管理費	3,500,000	3,150,137	349,863	
会員管理事務委託費	1,300,000	1,321,157	△ 21,157	
庶務会計事務委託費	1,080,000	1,260,000	△ 180,000	
会議費	500,000	63,525	436,475	臨時理事会(福岡)
通信費	400,000	253,478	146,522	
印刷費	100,000	118,800	△ 18,800	
雑費	120,000	133,177	△ 13,177	
当期支出合計(C)	14,900,000	15,449,498	△ 549,498	
当期収支差額(A-C)	△ 2,100,000	2,487,502		
次期繰越収支差額(B-C)	1,859,314	6,416,816	△ 4,557,502	

日本心不全学会

貸借対照表

2003年3月31日現在
(単位:円)

借方		貸方	
勘定科目	金額	勘定科目	金額
流動資産		流動負債	
預け金	6,589,866	前受会費	7,170,000
普通預金	15,285	未払費用	451,655
前払費用	7,233,320		
未収入金	200,000	次年度繰越金	6,416,816
		前年度繰越金	3,929,314
		当年度繰越金	2,487,502
合計	14,038,471	合計	14,038,471

財産目録

2003年3月31日現在

(単位:円)

資産の部

科目	摘要	金額
預け金	(財)日本学会事務センター	6,589,866
普通預金	みずほ銀行/本郷支店	15,285
前払費用	JCFvol.9製作費・会費請求書郵税	7,233,320
未収入金	ニュースレター広告料	200,000
資産合計		14,038,471

負債の部

科目	摘要	金額
前受会費	2003年度分会費	7,170,000
未払費用	学会誌9-1送料・理事会会議費他	451,655
次年度繰越金		6,416,816
負債合計		14,038,471

収支決算書および財産目録に記載された内容及び金額は
上記の通り相違ありません。

2003年 月 日

監事 大江 透 印

監事 友池 仁暢 印

審議事項 2

日本心不全学会平成16年度予算書(案)

(2004年4月1日～2005年3月31日)

<収入の部>

科 目	平成15年度 予算書	平成16年度 予算書	備 考
会 費 収 入	12,507,000	12,790,000	
正会員会費	7,707,000	8,190,000	会費納入率 84%
賛助会員会費	4,800,000	4,600,000	200,000円×23口
広告掲載料収入	2,400,000	2,400,000	ニュースター(H14年度実績)
雑 収 入	0	0	
寄 付 金	0	0	
受取利息他	0	0	
当期収入合計 (A)	14,907,000	15,190,000	
前期繰越収支差額	3,929,314	6,416,816	平成14年度繰越金とした
収 入 合 計 (B)	18,836,314	21,606,816	

<支出の部>

科 目	平成15年度 予算書	平成16年度 予算書	備 考
刊行事業費	12,300,000	12,700,000	
JCF購読料(vol.10No.1-6)	8,000,000	9,000,000	年6冊
JCF送料	1,500,000	1,500,000	ニュースターと同封
会報編集制作費(4回)	2,200,000	2,200,000	
会報送料	600,000	0	
学術集会費	800,000	700,000	
予稿集発行負担金	500,000	500,000	
予稿集送料	300,000	200,000	
管 理 費	3,710,000	3,910,000	
会員管理事務委託費	1,500,000	1,400,000	
庶務会計事務委託費	1,080,000	1,180,000	
ホームページ委託費	0	200,000	
会 議 費	500,000	500,000	
通 信 費	300,000	300,000	
印 刷 費	200,000	200,000	
雑 費	130,000	130,000	
当期支出合計 (C)	16,810,000	17,310,000	
当期収支差額 (A-C)	△ 1,903,000	△ 2,120,000	
次期繰越収支差額 (B-C)	2,026,314	4,296,816	

審議事項 3

平成17年度(2005年)会長選出について
第9回会長候補者

次回/歴代会長

平成16年度(2004年) 第8回会長	藤原 久義	岐阜大学医学部内科学第二
平成15年度(2003年) 第7回会長	堀 正二	大阪大学大学院医学系研究科病態 情報内科学
平成14年度(2002年) 第6回会長	永井 良三	東京大学医学部循環器内科
平成13年度(2001年) 第5回会長	白土 邦男	東北大学医学部第一内科
平成12年度(2000年) 第4回会長	横山 光宏	神戸大学医学部内科学第一講座
平成11年度(1999年) 第3回会長	竹下 彰	九州大学医学部循環器内科
平成10年度(1998年) 第2回会長	北畠 顕	北海道大学医学部循環器内科
平成9年度(1997年) 第1回会長	篠山 重威	京都大学医学研究科循環病態学

(所属在任時)

日本心不全学会会員の皆様へ

日本心不全学会ホームページが開設されました。アドレスはhttp://www.jhfs.gr.jp/です。ぜひご利用ください。また、ご要望などございましたら下記事務局へお寄せください。

日本心不全学会事務局
TEL: 03-5814-5801 FAX: 03-5814-5820
E-mail: infs@bcasj.or.jp

学会カレンダー (2003~2004年)

Table with 5 columns: 開催日, 学会名, 会長, 所属, 会場. It lists various medical conferences from October 2003 to April 2004, including the 39th Japanese Transplantation Society meeting and the 15th Japanese Echocardiography Society meeting.

News Letter 編集事務局より
お知らせ

2001年より、日本心不全学会 NewsLetter の発行に関する業務は、学会の出版・編集委員会が企画し、(財)日本学会事務センターにある学会事務局が発行業務を担当することになりました。現在「心不全研究の最前線」...

出版・編集委員会委員長
竹下 彰
日本心不全学会 News Letter 編集事務局担当
筒井裕之

日本心不全学会 NewsLetter 編集事務局の連絡先

〒812-8582 福岡市東区馬出3-1-1
九州大学大学院医学系研究院 循環器内科学
日本心不全学会 News Letter 編集事務局
筒井裕之・深松洋子
TEL: 092-642-5360 FAX: 092-642-5374
E-mail: prehiro@cardiol.med.kyushu-u.ac.jp

日本心不全学会入会のご案内

本学会は、心不全ならびにこれらに関連する分野の研究発表の場を提供し、知識や情報の交換を行うことにより心不全に関する研究を推進し、わが国における医学の発展に寄与することを目的としております。平成8年に設立、今年で7年が経過いたしました。本会のさらなる充実に向け、会員の増強を行っております。ご入会を希望される方がおられましたら、是非ご紹介くださいますようお願いいたします。

- ▶ 会員の特典
1. 日本心不全学会と米国心不全学会の共通の機関誌 "Journal of Cardiac Failure" が配布されます。
2. ニュースレターが年4回配布されます。

- ▶ 入会手続き
下記事務局宛にご連絡ください。折り返し「入会申込書」をお送りいたします。または、巻末の入会申込書にご記入いただき、FAXにて送信ください。

〒113-8622 東京都文京区本駒込5-16-9
(財)日本学会事務センター内 日本心不全学会事務局
TEL: 03-5814-5810 FAX: 03-5814-5825

- ▶ 年会費
正会員 10,000円
▶ 会費の送金方法について
入会申込書を返送していただいてから1カ月以内に請求書を発行しますので、最寄りの郵便局または銀行よりお振込みください。

日本心不全学会 News Letter Vol. 7, No. 3

2003年10月1日発行

編集・発行 ● 日本心不全学会
〒113-8622 東京都文京区本駒込5-16-9
財団法人 日本学会事務センター内
TEL: 03-5814-5801 FAX: 03-5814-5820
http://www.jhfs.gr.jp/

製作 ● 財団法人 日本学会事務センター 学術情報事業部
〒113-8531 東京都文京区本郷3-22-5 住友不動産本郷ビル7F